

山行報告書

報告書作成

2009年1月18日

山名 [山域]	霊仙山(1083m)	目的と方法	雪山初級(読図とルート選択)
登山期間	2009年1月17日	山行形態	日帰りハイキング
参加人数	8人		

行動記録

河合池運動公園(5:00) =0:55= 養老SA(5:55,6:25) =0:10= 関が原IC(6:35) =0:35= 登山者PKG(7:10,7:45) -0:15- かなや(売店)(8:00) -1:00- 見晴らし台(9:00,9:05) -0:40- お猿が岩(9:45) -0:25- お虎ヶ池(10:10,10:20) -1:00- 経塚山(11:20) -0:25- 霊仙山山頂(11:45,12:15) -0:50- お虎ヶ池(13:05,13:10) -0:20- 見晴らし台(13:30,13:35) -1:10- 登山者PKG(14:45,15:00) =0:40= 薬草風呂「ジョイ伊吹」(15:45,16:45) =0:10= 伊吹そば「伊吹野」(16:55,17:50) =0:10= 関が原IC(18:00) =1:00= 河合池運動公園(19:00)

概念図



日誌

醒ヶ井養鱒場まで道路に雪がなかった。当初醒ヶ井養鱒場に駐車する予定であったが、道路状況を確認し、登山口まで車で入った。お猿が岩までは好天で、琵琶湖が見えたが、お虎ヶ池の手前から霧が出て視界が悪くなった。山頂を往復するまで20 - 30mくらい先が見えない状態が続き、帰路お虎ヶ池に戻る頃に霧がなくなった。

霧と同時に風が出て、たいへん寒く感じた。

お虎ヶ池でワカンを装着した。霧が出てからは更に入念に地図とコンパスで進路を確認し、リーダーが帰路のルートを確認するため、目印を付けて進んだ。

山頂の積雪量は1.5m。霧のため眺望が聞かず、風もあって寒いので、昼食を済ませてすぐに下山した。

登りに通過した経塚山に登らず迂回してお虎ヶ池に向かった。途中、山頂付近で通り道の3mほど風下に雪庇ができていたのを皆で確認した。お虎ヶ池では、雪庇の観察と雪庇によって弱層ごと崩れる体験をした。

お猿が岩を下り、夏道に合流したところでワカンははずした。温泉とそば屋に寄り、19時には集合地の河合池

感想

登り始めた頃は、天気もよく、汗ばむ陽気であったが、急に霧が立ち込め風が出て気温が下がり、視界も狭まった。周りが見えないと不安になる。その上風が強いと更に不安な気持ちになる。特に頂上から下るときには、方角を失うとたいへん危険だと思った。読図、ルートを見極める技術を体得することが重要である。